

停電時の使いかた

停電時の蓄電システムの動作

商用電源が停電すると、自動*的に連系運転から自立運転に切り替わります。

*手動切替盤の場合は手動での切替え操作が必要です。

自立運転を確認する

スマホアプリで運転状況を確認することができます。

- 1 メイン画面である「電気の流れ」画面（⇒ [29 ページ](#)）を開く
- 2 「運転状態：自立運転中」と表示されていれば正常です。

商用電源が復電した際は、自動*的に連系運転に切り替わります。

*手動切替盤の場合は手動での切替え操作が必要です。



⚠ 注意

以下の場合、自立運転が停止することがあります。

- 使用する電気機器の消費電力の総計が大きい場合
- 電気機器の起動する電力が大きい場合

使用する電気機器を減らすか、電気機器の設定を低消費電力モードにしてください。
自動的に運転を再開します。

停電時にクルマの電気を活用する

停電時、電池システムとクルマを接続することで、電池をより長時間使用することができます。

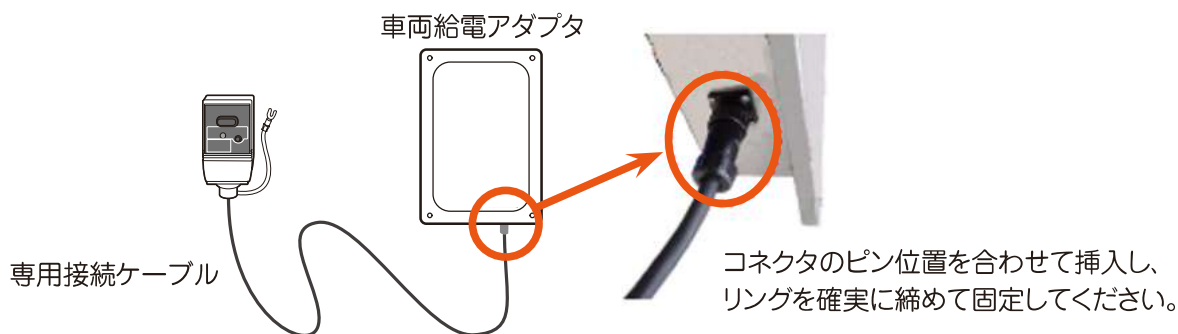
⚠ 注意

- 使用前に車両給電アダプタの吸気口、排気口にゴミ等が詰まっていないことを確認してください。
- 専用接続ケーブルを無理に引っ張らないでください。
- 使用しないときは、コネクタにキャップをしてください。

接続手順

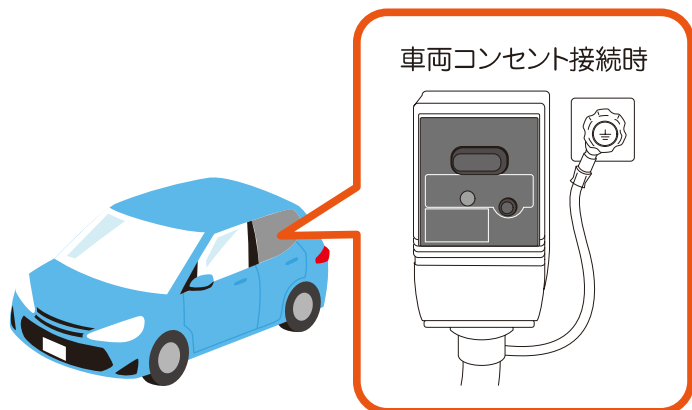
1 車両給電アダプタに専用接続ケーブルコネクタを接続する。

※延長接続ケーブルをご使用になる場合は、専用接続ケーブルと延長接続ケーブルのコネクタを接続し、コネクタのリングを確実に締めてから使用してください。

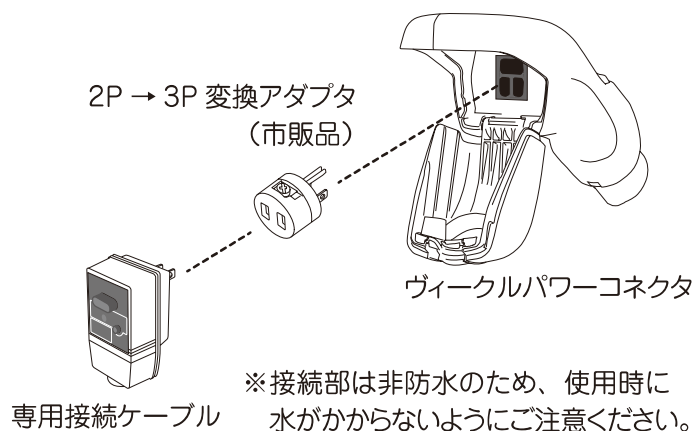


2 車両コンセントに専用接続ケーブルを接続する。

※アース端子がある場合はアース接続することを推奨します。



ヴィークルパワーコネクタをご使用になる場合は、専用接続ケーブルへ 2P → 3P 変換アダプタ（アース接続端子付、市販品）を装着する必要があります。



3 クルマの取扱説明書に従い、非常時給電システムを立ち上げてください。

※専用接続ケーブルの通電ランプが消灯している場合は、専用接続ケーブルのリセット（入）ボタンを押してください。

● 非常時給電システムの使い方

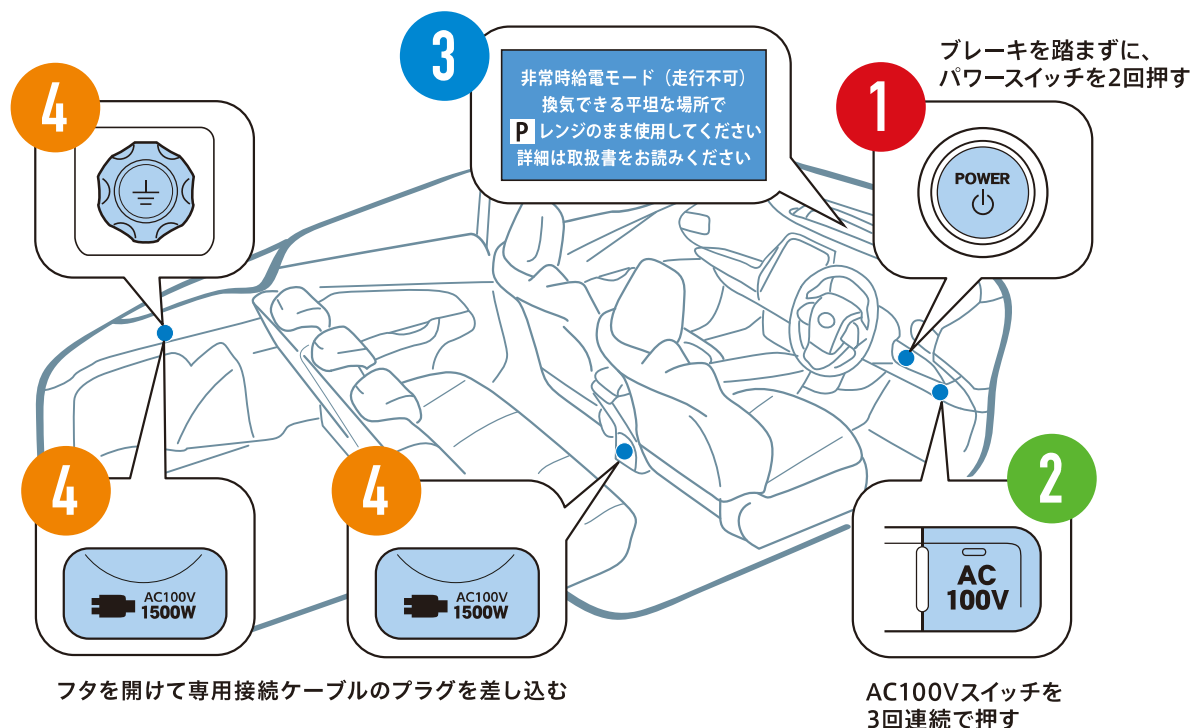
<https://toyota.jp/pages/contents/kyuden/pdf/emergency.pdf>

● ヴィークルパワーコネクタの使い方

<https://toyota.jp/pages/contents/kyuden/pdf/vpc.pdf>

非常時給電システムの操作方法

例 プリウスの場合 車種によって場所が異なりますが、同様のスイッチ及びコンセントが存在します。



- 1 ブレーキを踏まずに、パワースイッチを2回押して、
「イグニッションON」状態にします。
ブレーキを踏んでいると非常時給電システムは使用できません。

- 2 READYインジケータが点灯していないことを確認し、
AC100Vスイッチを3回連続で押してください。
AC100Vスイッチを押す間隔が1秒以上あかないように、連続して押してください。

- 3 マルチインフォメーションディスプレイに非常時給電モードの説明が
表示されたら起動完了となります。

- 4 フタを開けて、専用接続ケーブルのプラグをコンセントの奥まで
しっかり差し込んでください。